



TITLE:

編集後記・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記・購読要項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1975, 21(8): 798-798

ISSUE DATE:

1975-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/121858>

RIGHT:

編 集 後 記

教室の岡田謙一郎助手が、西ドイツでの研究生活を終えて帰国した。われわれが正しいドイツ語であると思って用いている、診療記録にたいする「カルテ」、患者にたいする「クランケ」、白衣にたいする「シュルツェ」、看護婦にたいする「プレーゲリン」、外来実習にたいする「ポリクリ」などの用語は、すべてそのような意味では用いられていないということである。私はつねづね学生の外来実習のことを Poli (都市) Klinik と呼ぶのは misnomer であると思っていた。このように本場のドイツで正確に意味の通じないような表現が、かなり日本の臨床医学の世界に定着してしまっているけれども、非使用の方向にもってゆくべきであろう。(T.T.)

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料 3,000 円(送料とも)前納していただきます。(1976年より 5,000円) 分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間15ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は 400 字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけて下さい。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで 2 行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ , %, pH などを使用し、は不用です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
例 Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
例 1) 加藤篤二: 日本泌尿器科全書, Vol. 5, p. 175, 金原出版 & 南江堂, 東京・京都, 1960.
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr.: Urology edit. by Campbell, M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は校正のさい返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第21巻 第8号	1975年8月25日 印刷	1975年8月30日 発行
創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤二		定価 500 円(送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)	
	印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入	
